

5-7 第Ⅶ地域（西谷）

（1）地域づくりの目標

①地域コンセプト

○人に優しく、豊かな自然にはぐくまれたまちづくり

②地域づくりの方向

（営農、集落地、自然）

○当地域は、本市の北部に位置し、山々に囲まれた盆地に営農地と集落地が広がり、山岳緑地およびそこに源流をもつ河川と農業地で構成される自然豊かな地域です。

当地域は、基本的に農業振興地域として位置付けられ、都市計画区域の市街化調整区域に指定されています。

北部地域と南部地域を分ける長尾山系は、大峰山をはじめ多くの山々が密集しており、六甲山系とともに南部市街地からのスカイラインを構成し、本市の風景の基盤となっています。

また、これらの山中には多くの文化財があり、市民や来訪者に野外レクリエーションの場を提供しています。

○地域の将来像の実現にあたっては、地域の地形や土地利用状況などから、

（ア）良好な水辺や自然緑地のゾーン

（イ）集落及び農業振興のゾーン

（ウ）新都市計画のゾーン

の3つに区分し、それぞれの特色を踏まえた地域づくりをめざします。



(ア) 豊かな自然・四季とふれあえるまち

- 当地域は、起伏に富んだ豊かな自然と、それらに囲まれた田園地帯が広がる地域です。
- そのため、自然緑地地区においては、無秩序な開発を抑制し、緑豊かな自然環境を保全し育成するとともに、レクリエーション機能の充実など、身近にふれあえる緑地としての整備を進めます。
- また、採石場跡地、桜の園などについては緑の復元、創出を行い、緑の拠点として整備を推進するとともに、当地域は上水道の水源地の1つでもあることから、公共水域の水質保全や、自然緑地の保全など、水環境の保全に努め、豊かな自然と共生した地域づくりをめざします。

(イ) 農業と交流を育てるまち

- 集落と農業振興のゾーンでは、宝塚市農業振興計画との連携により無秩序な開発を抑制し、農業生産基盤整備とあわせ、地域の田園・自然環境を活かした交流型の地域づくりをめざします。
- 地域の発展に不可欠な広域交通の要となる新名神高速道路の建設にあわせたスマートインターチェンジの設置を促進するとともに、南部市街地や周辺都市との連絡を強化するため主要地方道塩瀬宝塚線をはじめとする幹線道路などの都市基盤施設の整備を積極的に促進します。
- また、農住環境の維持・増進に加えて、人口減少や少子化、高齢化も視野に入れ、生活・交流の拠点である大原野地区において、生活利便施設や行政サービスセンターなどの集積を図り、北部地域の生活拠点として整備します。
- さらに、自然環境を積極的に保全するとともに、コミュニティ活動などによる新たな魅力の創出による地域づくりをめざします。

(ウ) 自然と共生するまち

- 県において平成9年から進捗調整と位置付けられている「宝塚新都市計画」については、その動向を注視するとともに、県の保有する広大な公有地においても、里山の保全・再生・活用などについて検討を行い、豊かな自然を活かした交流ができる地域づくりをめざします。

(2) 地域の土地利用の方針

(地理的特性)

○当地域は市域の過半を占め、また、地形は起伏に富んでいますが、水系など大きな地形のまとまりからみると、南から「切畑地区」、「玉瀬・境野地区」、「波豆・大原野・長谷・下佐曾利・上佐曾利地区」と「南部市街地との中間部に位置する山岳群の緑地帯」に分けて、山々に囲まれた盆地をみる事が出来ます。

・切畑地区

大峰山(552.3m)、検見山(476.4m)、古宝山(459.4m)の斜面に囲まれ、坊川と僧川が武庫川に流下します。

・玉瀬・境野地区

馳渡山(289.4m)、丸山(328.4m)、大岩岳(384.1m)、向山(339.2m)、古宝山(459.4m)に囲まれ、川下川、そばが谷川、境野川の水系が川下川貯水池に流下し、僧川も流れます。

・波豆・大原野・長谷・下佐曾利・上佐曾利地区

北部地域でもっとも大きな営農地が連担しており、天狗山(339.8m)、竜王山(365.6m)、今井岳(385.8m)、三蔵山(411.4m)、上之岳(449.6m)、布見ヶ岳(366.2m)の山々に囲まれ、多数の河川からなる水系をもちます。それらは、波豆川、大原野川、佐曾利川、猿山川、長谷川、羽束川からなる水系です。この水系は、営農地の溜池に貯水され、最終的に千苜水源地に流入します。

・南部市街地との中間部に位置する山岳群の緑地帯

居住する人口は非常に少ないですが、南斜面を源流とする河川は南部市街地に河川流を下らせて恵みをもたらします。その山々は、中山(478.0m)、長尾山(306.9m)、大峰山(552.3m)、検見山(476.4m)、向井山(422.2m)、愛宕山(336.5m)、石切山(283.7m)、釣鐘山(193.8m)であり、非常に密集しています。

(ア) 自然緑地区域

○自然緑地区域のうち、大峰山周辺部をはじめとした南部地域の周辺から西宮市ー神戸市および川西市ー猪名川町の市境界部に続く山間部については、北摂連山近郊緑地保全区域となっており、一部区域には砂防指定地、保安林なども指定されています。また、JR廃線敷と桜の園、波豆八幡神社や宝山寺などの神社仏閣を結ぶ旧街道などのハイキングコースには、休日を過ごす人々が訪れるほか、市街地周辺緑地から続く山間部や猪名川町との市境界付近には多くのゴルフ場があり、広域からのプレーヤーの余暇に供しています。

○そのため、自然とのふれあいや観光の視点から、緑地保全地区など自然環境の保全と活用を図るとともに、里山の保全・再生・活用に向けた市民活動を支援します。

(イ) 集落・農業振興地域

- 集落・農業振興地域については、食糧供給や地産地消の役割を担っていることから、農業振興計画に基づき農地の保全と農業基盤の整備、交流型の農業振興を図るとともに、集落周辺の里山と一体となった良好な田園環境の保全と再生に努めます。また、人口減少や少子化・高齢化などによる活力低下を防止しつつ、集落地域の生活環境の向上ならびに都市部との交流を促進するため、地域の生活、生産、経済基盤の向上に寄与する都市基盤施設などの整備を推進します。
- 地域の中央部に位置する大原野周辺地区においては、西谷サービスセンターや児童館、農業振興施設、自然休養村センター、認定こども園、小中学校、診療所、郵便局、地域利用施設、農協支店などの公共公益施設が集積していることから、日常の生活利便施設や行政サービス機能などの充実を図るとともに、南部地域や近隣都市との交流の拠点として位置付けます。
- 新名神高速道路の整備が進むことに伴い、スマートインターチェンジの整備促進とともに、周辺地域の環境が変化することが予測され、無秩序な開発の抑制とともに、現在の集落地や住宅地の住環境の保全、整備をめざした諸施策の実施が求められます。そのため、地域の活性化に向け、農業振興施策との連携を図りつつ、地域住民の意向を踏まえたうえで、市街化調整区域の建築制限を緩和する都市計画制度や開発許可制度の活用について検討し、北部地域にふさわしいまちづくりに取り組みます。
- 地域の持続性を考慮しつつ多様な土地利用が可能となることから、大岩谷、鶴見台地区に続き、他の地区においても地区計画の導入を検討します。
- 体験農業など、新たな農地活用施策の促進について検討します。
- 武田尾地区は、河川改修事業にあわせ災害に強い集落の形成と適切な土地利用を図ります。
- 玉瀬地区は、県事業による土地改良事業の早期事業化と事業促進に努めます。
- 長尾山霊園・火葬場、宝塚すみれ墓苑、緑のリサイクルセンターの適切な機能の維持・管理に努めます。また、都市防災の観点から、道路、公園、河川・水路などの未整備な公共施設の整備を推進します。

武田尾



(ウ) 宝塚新都市計画区域

- 県において現時点では進度調整と位置付けられている「宝塚新都市計画」については動向を注視するとともに、県の保有する広大な公有地については、里山の保全・再生・活用に向けた市民活動を支援するなど、北部地域の魅力を高めるような施策を検討します。また、自然休養村、県立宝塚西谷の森公園の適正な管理と運営に努めます。

(3) 地域を支える都市拠点とネットワーク

①都市拠点の整備・充実

- 大原野周辺地区を、北部地域における日常の生活利便施設・行政サービス機能の集積を図る拠点となる「地域核」として位置付けます。
地域核を中心として、多様な交流拠点（西谷ふれあい夢プラザ、県立宝塚西谷の森公園、長谷牡丹園、宝塚自然の家など）のネットワークを強化することにより、北部地域の集客性の向上を図ります。
- JR武田尾駅周辺と新名神高速道路で設置を促進するスマートインターチェンジ周辺を、北部地域の玄関口（北部ゲートゾーン）として位置付け、観光や特産品について観光客へ情報提供を行うなど、北部地域の魅力の発信拠点として充実させます。

②交通ネットワーク

(ア) 道路

- 広域圏と当地域を直結する新名神高速道路について整備を促進するとともに、広域との連絡を強化するため、当地域内にスマートインターチェンジの設置を促進します。さらに、スマートインターチェンジ周辺道路についても県とともに整備を促進します。
- 北部地域と南部市街地を連絡する「都市幹線道路」として、主要地方道塩瀬宝塚線の強化を図ります。また、補完する道路として長尾山トンネル道路の適切な維持管理に努めます。
- 周辺市町と連絡する主要地方道川西三田線、切畑道場線、切畑猪名川線、市道1508号線、市道1509号線などの既存の道路や地域内を連絡する道路については、沿道の特性に応じて、自然環境や住環境などとの調和に十分配慮します。また、スマートインターチェンジや主要地方道川西三田線の整備により、交通量の増加などが予想されることも踏まえ、歩行者や自動車にとってより安全に通行できる快適な道としての整備、充実を図ります。

(イ) バス

- 宝塚市地域公共交通総合連携計画に基づき、武田尾駅におけるシェルター（バス停の上屋）の設置や駅舎のバリアフリー化をめざすとともに、北部地域の主要な玄関口として機能充実とアクセス強化を推進します。

③水と緑のネットワーク

(ア) 水と緑の拠点

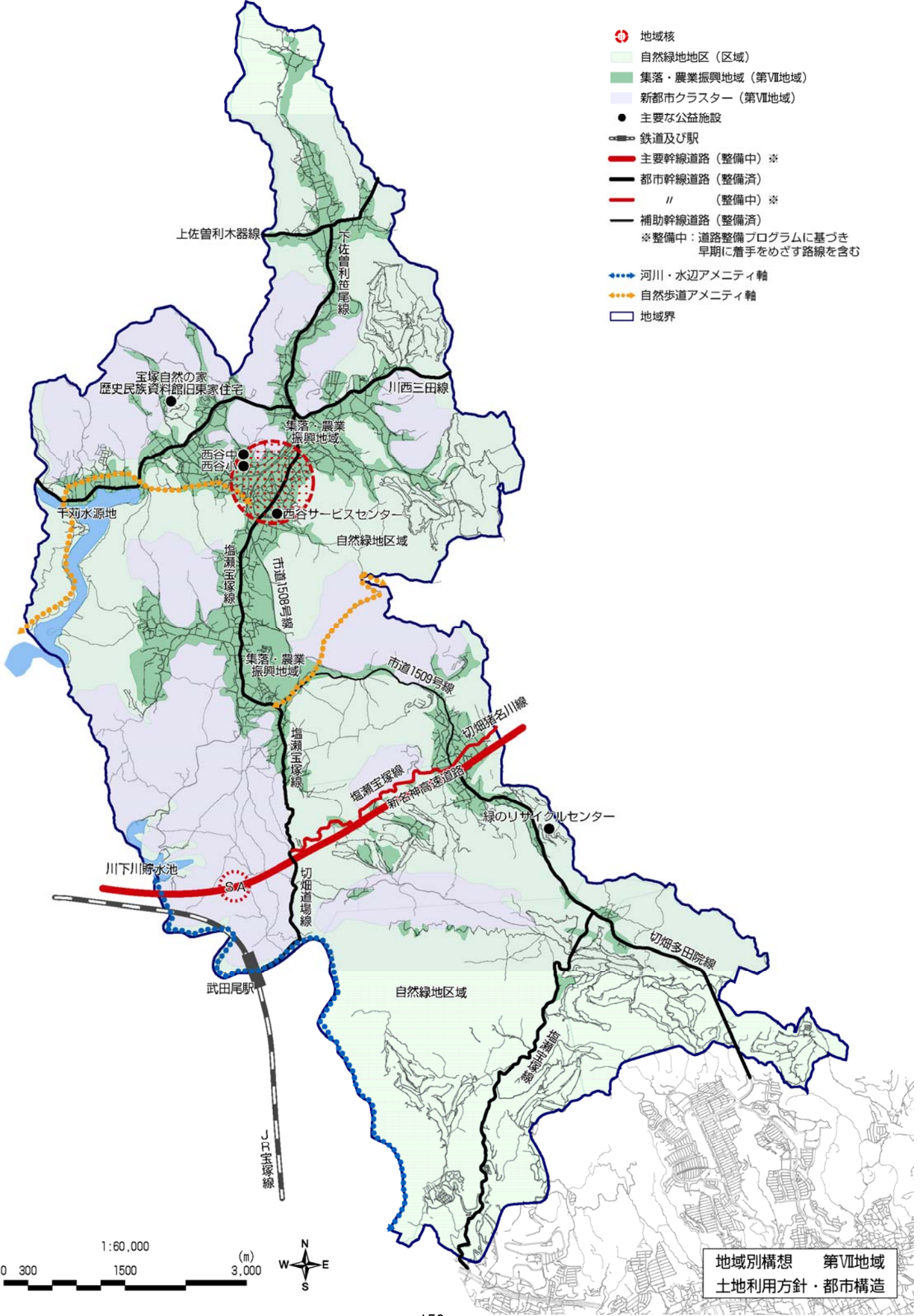
- 良好な景観を有し、地域のシンボルとしても親しまれている千苺水源地や川下川貯水池は、水と緑の拠点として位置付け、水質保全に努めるとともに、親水空間の整備を推進します。
- 桜の園（笹部桜）は、今後も、市民と協働で適切な維持、管理に努めます。
- 現存する自然緑地区域について、生態系の維持（湿原の保護）や水源の涵養といった視点からも、緑地保全地区や風致地区などの指定を活用し、保全・再生・整備に努めます。
- 丸山湿原は、地域の魅力として保全していけるよう国や県に働きかけるとともに、市民活動を支援します。
- 当地域南部の採石場跡地については、関係権利者との調整を図りながら、緑地のより適切な保全や育成をはじめ、その利活用について検討します。

(イ) 水と緑のアメニティ軸

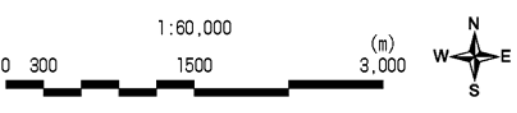
- 山林と水辺が一体となって、自然美豊かな景観が形成されている武庫川の左岸を「河川・水辺アメニティ軸」として位置付けます。
- 武田尾温泉や桜の園などとも連携を図り、親水空間や自然観察の場の確保、遊歩道の整備などにより、アメニティの充実と自然環境の保全に努めます。
- 近畿自然歩道に指定されている「神戸市北区～波豆～玉瀬～猪名川町」を結ぶルートやJR廃線敷を利用したハイキングコース、また、千苺水源地などの水辺、波豆八幡神社や普門寺、願宗寺などの社寺、桜の園、宝塚すみれ墓苑、宝塚自然の家、県立宝塚西谷の森公園をはじめとした多様な拠点を結ぶ遊歩道・ハイキングコースなどについて、「自然文化アメニティ軸」として位置付け、沿道の状況に応じて、市民との協働により緑地の保全や自転車歩行者道の整備を進めるなど、安全で快適な道づくりを進めます。

JR廃線敷





- 地域核
- 自然緑地区 (区域)
- 集落・農業振興地域 (第Ⅶ地域)
- 新都市クラスター (第Ⅶ地域)
- 主要な公益施設
- 鉄道及び駅
- 主要幹線道路 (整備中) ※
- 都市幹線道路 (整備済)
- // (整備中) ※
- 補助幹線道路 (整備済)
- ※整備中：道路整備プログラムに基づき
早期に着手をめざす路線を含む
- ◆◆◆ 河川・水辺アメニティ軸
- ◆◆◆ 自然歩道アメニティ軸
- 地域界



地域別構想 第Ⅶ地域
土地利用方針・都市構造

